

令和6年度第1回厚木市学校給食センター運営委員会会議録

会議主管課 教育部学校給食課
会議開催日時 令和6年7月3日（水）午前10時30分～午前11時30分
会議開催場所 厚木市北部学校給食センター2階 会議室
出席者 厚木市学校給食センター運営委員会委員12人
教育部長及び学校給食課職員7人
説明者 学校給食課長、学校給食課職員

委嘱状交付式

委嘱状交付

あいさつ 佐後教育長

会議経過は、以下のとおり。

- 1 開会 学校給食課長
委員及び事務局の紹介、資料確認
厚木市学校給食センター運営委員会について（参考資料1及び2に基づき説明）

2 会長及び副会長の選出

(1) 会長の選出

会長に足立委員（南毛利中学校校長）を選出。

会長 あいさつ

(2) 副会長の選出

副会長に大谷委員（玉川小学校PTA役員）を選出。

3 案件

以下、足立会長により議事進行

委員からの質疑、意見及び事務局の説明は次のとおり。

(1) 附属機関における会議録の形式について 【資料1】

発言者の氏名は公表、発言内容は要約記載とすることで全員同意。

(2) 令和6年度学校給食に係る実施計画について 【資料2】

勝又委員 アレルギー対策については十分対応されているとのことですが、昨年起きた子どもの誤飲やのどに詰まらせたというニュースを耳にしましたが、それについての対策や子ども達への注意喚起はどのように行っているのか。

事務局 昨年、ウズラの卵により子どもがなくなる事故がありました。厚木市では現在、ウズラの卵は提供を控えている状況です。事故の状況としては、小学1年生の児童で歯が生えかわりの途中ということもあり、誤飲をしてしまったということで、事故の再発を防止するためには、よく噛んで食べるという指導を徹底していくことが大切です。各教室では食育指導の中で、安全に食べられるよう指導しており、誤飲の危険性のある食材が含まれる場合は、担任の先生からも十分に指導していただいているところです。

勝又委員 子ども達からのアンケートや保護者の要望は取り入れているのか。

事務局 保護者の方からアンケートを取ることはしていませんが、給食費無償化

の実施にあたりましては、多くの市民の方から意見をいただきました。また、子ども達からは、給食のアンケートを取って、人気のある給食の投票等を行っています。

今後は、保護者の方へのアンケートについても検討してまいります。

勝又委員 使ってはいけない食材として排除するのではなく、日常生活の中で食べ物を子どもが気を付けて食べられるかを伸ばして行ってほしいので、よろしくをお願いします。

室田委員 パクパクあつぎ産デーについて、子ども達には周知されているのか。

事務局 PR方法については、各クラスに1枚、献立表に地場産を利用していることを記載したものを配布しています。

各学校で取り組みは異なりますが、ある中学校では、放送委員会が給食の時間に地場産の紹介をしていると聞いております。また、家庭配付用の献立表には、地場産の食材を使用している日に☆印を付けて周知しています。

室田委員 残食量を減らす対策はどうしているのか。

事務局 残食を減らすため、栄養士がいろいろと献立を考えているところですが、先生方からも子ども達に声掛けをしながら、地場産を含め子ども達に「食」に興味持ってもらえるよう取り組んでいるところです。

これから夏になり暑くなると、食が細くなり残食も増える傾向ですが、残食量を減らすよう取り組んでまいります。

(3) 令和6年度学校給食用物資納入登録業者について【資料3】

質疑なし

(4) 学校給食費の現況について

【資料4】

質疑なし

4 その他

安藤委員 北部学校給食センターが移転して現在の場所がわかりづらい、物資選定委員会等PTA役員の方も利用されるので、主要道路の交差点などに看板を付けてもらいたい。

事務局 わかりづらい状況です。

現在、北部学校給食センターの前の道路(県道42号藤沢座間厚木)を整備していることもあり、それまでの間は、来られる方に対して案内図等をお示しし、迷わないよう対応してまいります。

勝又委員 栄養カロリーや摂取量については、毎日とれないと思うのですが、栄養計算はどのくらいのスパンでしているのか。

事務局 摂取量については、文部科学省で定めた摂取基準に基づき、一食当たりの摂取量に合わせて給食を提供できるよう献立を考えています。

(資料 厚木の給食P24参照)

勝又委員 一日一食が配膳されていますが、無償化になって自由度が出るのではないかと思う。例えば、残渣をなくすため、子どもが自分の体調を見ながら給食を選ぶようなことはできないか。

事務局 学校給食では学齢に合わせて必要な栄養素の摂取基準が決まっています。無償化になっても、一食の単価は固定されているので、公平に提供するため

には、臨機応変に対応することは現状では難しいと考えています。

室田委員 給食費の無償化について、改めて驚いた。

今まで、給食費は口座から引き落とされていたので、払っている実感がなかった。改めて見ると9年間無償で食べられることは、どれだけありがたいサービスなのか、もっと多くの家庭にも知ってもらいたいサービスだと実感しました。

事務局 全国的に見ても20万市民の規模で完全無償化を実施しているところは少ないのが現状です。無償化のメリットとして家庭での負担が軽減できるということで、これから厚木に住む方や住み続ける方に子育て環境の充実を進めてまいります。

室田委員 アレルギー対応や市外通学の家庭を対象外とせず、給食費相当額の給付制度を設けていることもとてもすばらしいと思いました。

5 閉会 副会長

会議終了後、北部学校給食センター紹介ビデオを視聴した後、中学校給食を試食して終了